

# 令和8年度 幌南小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21008

学校名：幌南小学校

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇学校評価の児童アンケートから「自分の取り組むことや頑張ることは、振り返りや友達のよいところを参考にして、自分で考え決めています」と感じている児童が増加傾向にある。</p> <p>◇札幌市の共通指標から「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」という児童が多く、自己調整能力の高まりが見られる。</p> <p>◇令和7年度に研究主題とした「しなやかに生きる子ども」の実現に向けて教育活動を行ってきた成果と言える。</p>
	<p>◇学校評価の児童アンケートから、「自分の考えや分かったことを言葉で伝えることができている」という項目において数値が低い傾向にある。</p> <p>◇学校評価の保護者アンケートにおいて子どもに身に付けてほしい力として、「自分の気持ちや考えを言葉で伝える力」「困難を乗り越える逞しさ」が高い割合を示している。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇札幌市の共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある。」という項目については、多くの児童が肯定的な回答をしている。異学年での交流活動（子しんじゅ活動）を中心に、他学年や友達のよさを見付けて伝え合うという活動を大切にしてきた成果である。一方で、「自分が必要とされていると感じる」という項目については、昨年度からやや低い傾向が見られるため、子ども同士の相互評価の場や自己肯定感を高める教師の価値付けを大切にしていく。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

しなやかに学ぶ力（個として意思をもち粘り強く学ぶ力強さと、他者を受けながら学ぶ柔軟さを兼ね備えた子ども）

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>◇研究副主題「他者とつながり合い、“楽しい”を見いだす学び」を目指して</p> <p>○二つの視点からの授業作り</p> <p>視点1：多様な個が生きる教材化 子ども一人一人の多様な思いや考えを尊重し、学びの過程でそれらが生きるように題材や単元等を構成する。</p> <p>視点2：多様な個が生きる教師の立ち位置 子どもの多様な思いや考えを適切に見取り、学びに向かう子どもに対してどのように関わりをするのかを明確にする。</p>	<p>◇全校共通の生活のめあて「3つのあ」の取組の推進 (全校アンケートを実施→児童会で決定しためあて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童による挨拶運動、「あるこうなんくん」で安全に歩く意識</li> </ul> <p>◇自分たちの生活や活動を発信する場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会での「しんじゅっ子発信タイム」(年3回 90周年記念式典含)</li> <li>・学年朝会や学級「朝の会」でのプロジェクト、委員会、係からのお知らせタイム</li> </ul> <p>◇自分たちの生活を振り返る場(生活ふりかえり DAY)の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校共通のふりかえりシート(月1回実施)</li> </ul>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
	<p>○子ども一人一人の必要感に根差し、学習の目的を達成するためのツールとしてのICT活用を目指して、各ツールの特性について様々な教育活動を通して学ぶ機会を効果的に位置付ける。</p> <p>◇クラスルームを活用し、学級や学年、各委員会で子ども同士が主体的に『つながる』ことができるようにする。パートナー校ともクラスルームを設定し、子ども同士の『つながり』を通して、柏学校区がよりよくなるようにする。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>

